

第1回 森わさ賞 表彰式を行いました～2月12日～

第1回森わさ賞に選ばれた山口弥生さん（弁護士・薬剤師、薬学部卒、宮崎市）の表彰式が、男女共同参画推進委員会に先だって、同委員等出席の下、行われました。佐藤学長より、表彰状と副賞のクリスタル盾が贈呈され、「弁護士と薬剤師の二つの資格を生かして活躍する全国でも数少ない先駆者」と祝辞がありました。

山口さんは「39歳で薬剤師の仕事で退職し、夫を置いて子どもとともに転居して福岡のロースクールに通い、弁護士になった。人生を自ら作ることができるということは、在学中に学べた。母校の後輩達を支援することで恩返ししたい。」と、受賞の言葉を述べました。



学長カフェを開催しました～2月3日～

佐藤雅美学長（山木暢法人事務局長、住智明大学事務局長同席）を囲んで、コーヒーを飲みながら学長カフェを開催しました。18名の教職員が参加し、教員の昇任の問題や、卒業生を含めた人材の更なる発掘、介護休業期間・時短勤務制度の見直しの必要など、それぞれの立場から率直な意見が交わされました。

昨年度の学長カフェで提起された問題が運用で解決されたという参加者の声もあり、佐藤学長からは、「制度の柔軟な運用に努めるとともに、誰もが働きやすい職場環境実現のために一歩ずつ確実な取り組みを進めていきたい。」とお話がありました。



推進計画の折り返し点になる 2020 年度、事業の一層の推進と定着に取り組みます

「神戸学院大学男女共同参画推進計画 2018-2022」実行の折り返し点になる 2020 年度は、この 2 年間に立ち上げてきた「森わさ賞」や「父親フォーラム」、「日曜・祝日及びセンター試験土曜出勤時一時保育」等保育 3 事業、専門家による「介護個別相談会」などの各種事業をさらに普及・充実していきます。あわせて、「男女共同参画弁論大会」や「活躍する女性卒業生セミナー」、「男女共同参画キャッチフレーズ（標語）」の募集・優秀作品表彰など、新たな事業にも取り組んでいきます。教員における上位職（准教授以上）割合は、計画時の 22.2%（2017 年 10 月）から 24.0%（2019 年 10 月）へ、教員・事務職員管理職位者は計画時の 8.8%（2017 年 5 月）から 16.1%（2019 年 10 月）に増加してきています。新年度も、男女共同参画推進事業にぜひご参加ください。

第2回 男女共同参画・ジェンダー卒論合同発表会を実施～2月4日～

卒業論文の成果を、パワーポイントを使ってプレゼンする標記発表会が開催され、他大学の学生等も含む 30 名が参加しました。3 名の発表者から、参加者全員による投票の結果、人文学部の 4 年次生・江連海斗さんの卒論「日本のホラー映画におけるジェンダー論」が最優秀賞を受賞しました。江連さんは「卒論の取り組みを通して、勉強の楽しさを知った。このような機会をいただき、大変嬉しい。」と受賞後のミニスピーチをしました。



公開映画会「ビリーブ～未来への大逆転」（米国）を開催しました～2月5日～

男女共同参画 student book club の学生たちが企画し、米最高裁判事ルース・ギンズバーグの半生を描いた上記映画会が開催され、20 名が参加。観賞後は、弁護士として史上初の男女平等裁判に挑んだその歴史を振り返りつつ、グループに分かれてディスカッションも実施。映画の中で何度も強調されていた「法は時代に左右される」というメッセージを共有しました。

女性研究者ランチミーティングを実施しました～2月3日～

複数の学部から 10 人の女性研究者が参加。ライフイベントとの両立、研究継続や昇任の課題などについて、学部によっても異なる状況を共有し、率直かつ和やかな意見交換を行いました。

子育て支援(配偶者の出産・男性職員の育児参加)の有給休暇をご利用ください

今年度から、慶事休暇の「配偶者の分娩」(3日)が、上記名の5日の有給休暇に拡充され、取得期間も延長されています。ぜひご利用ください。

詳しくは、総務事務グループ(人事担当・内線24439)までお問い合わせください。

神戸学院大学 男女共同参画推進室

住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3

電話 078-974-1551(代表) 内線 84453

078-571-0927(直通)

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp